

群 教 七	G11 - 03
	平28.261集
	学級活動

多様な解決方法のよさを捉え、 自分に合った家庭学習の進め方を見いだす生徒の育成 ——カードを用いた交流活動とワークシートの工夫を通して——

特別研修員 大市 哲也

I 研究テーマ設定の理由

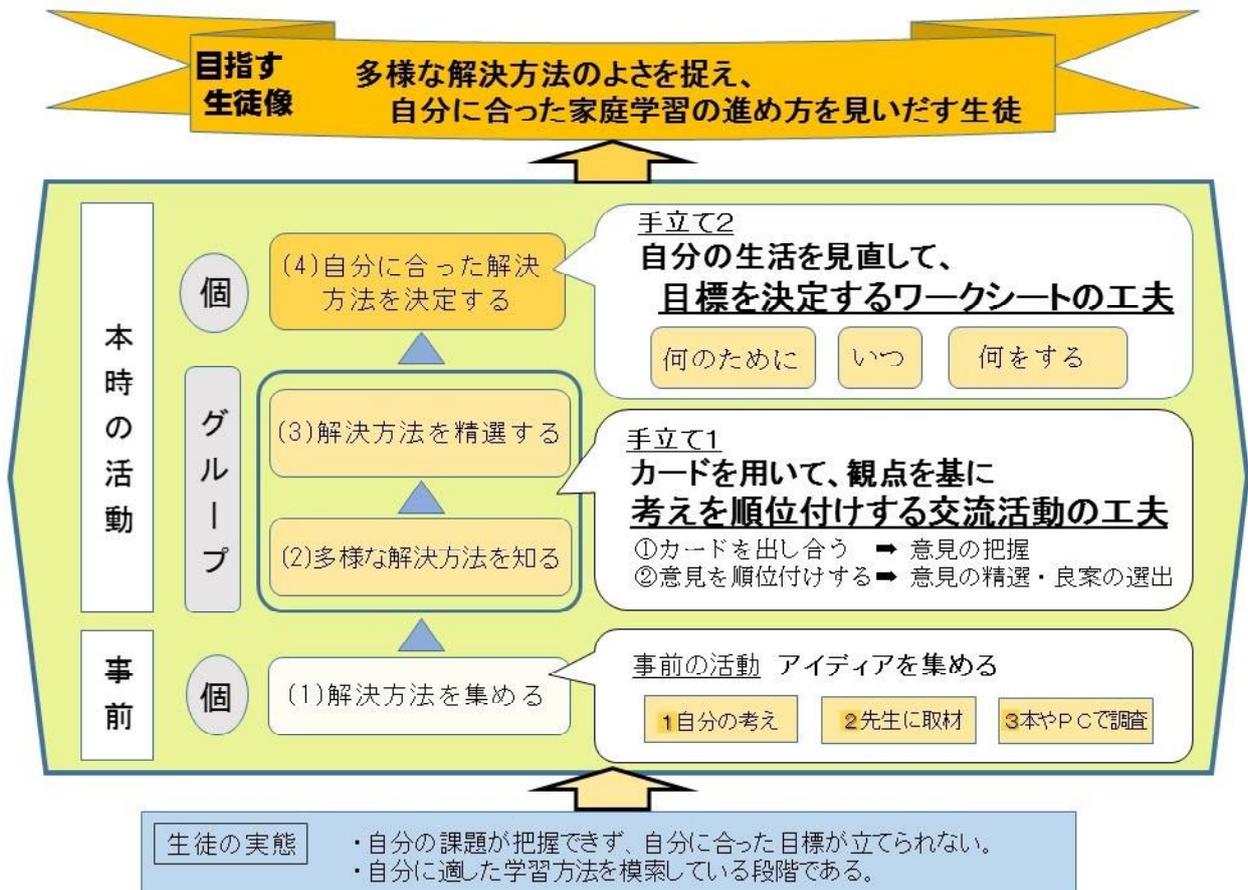
中学校学習指導要領解説特別活動編では、学校教育の重要な課題として「生徒が自ら進んで学習に取り組む意欲・態度を育成する」ことを挙げており、「自主的な学習態度の形成」を重視すると述べている。

本校の生徒の多くは、授業中に真剣に学習に取り組んでおり、与えられた課題に真面目に取り組む。しかし、家庭学習の取組には生徒によって差があり、将来を見据え、計画的に学習に取り組む態度の形成までには至っていない。目標に向かって自ら進路を切り開いていけるようにするために、中学校の三年間で自律的な学習態度へと高めていく必要がある。第一学年としては、様々な学習方法を知り、自分に合った家庭学習の進め方を生徒自らが選択できるよう導いていくことが大切と考える。

そこで、様々な学習方法のよさを捉え、自分に合った家庭学習の進め方を見いだす生徒の育成を目指すこととした。そして、これに迫るため、生徒一人一人が学習への多様な取組があることに気付けるような学習活動を設定していく。併せて、様々な解決方法から、自己の課題を解決していくための取組を決めるワークシートを工夫する。このような考えから、上記の通り本研究テーマを設定した。

II 研究内容

1 研究構想図



2 授業改善に向けた手立て

1年生は自分にふさわしい学習方法を模索し、試行錯誤をしている段階である。そこで、学習方法の幅を広げ、自分に合った方法で学習に取り組んでいけるように、次の二つの手立てを講じることにした。

手立て1 カードを用いて、観点を基に考えを順位付けする交流活動の工夫

手立て2 自分の生活を見直して、目標を決定するワークシートの工夫

手立て1は、意見を記入したカードを出し合って友達と交流し、様々な考えを重要度で順位付けする活動である。カードの記入は、事前の活動で行う。その際に①自分の考えや経験を基にする、②先生方へ取材する、③本やインターネットで調査する、という三つの方法で解決方法を集める。本時では、記入したカードを友達と持ち寄って、模造紙上に出し合い、班全体の意見を把握できるようにする。そして、多くの意見の中から重要度を鑑み、順位付けの観点に沿って順位付けを行う。これによって、自分の思考を広げると共に、班での交流の中で意見の精選とより良い意見の選出を行っていくことになる。

手立て2では、手立て1で知った様々な考え方を参考に、自分に適した具体目標を決めるためのワークシートを活用する。ワークシートは、自分の生活を振り返りながら具体目標を決めることができるよう、次の三つの観点①伸ばしたいところ、②いつ行うか、③どのような学習を行うかによって構成する。生徒一人一人は、これによって、自己の現状を踏まえて、具体的な行動目標を考えていくことになるのである。

このように、二つの連続した手立てを講じることで、学習についての視野を広げ、今後の具体的な取組を決めていく。このことは、家庭学習を進めていく上で多様な学習方法のよさを捉え、自分に合った進め方で家庭学習に取り組む生徒の育成につながっていくと考える。

III 研究のまとめ

1 成果

- 友達と話し合いながら、模造紙上で似た意見をまとめたり、種類別に分類したりすることは、意見全体の把握に役立った。また、自分とは異なる観点から出された意見に触れ、新しい気づきを得られた。それにより、家庭学習の取り組み方について幅を広げることができた。
- 順位付けの観点を明示することで、どの生徒も共通の観点を持って意見交流を行うことができた。班で順位付けを行うことで、意見の良し悪しや重要度について生徒間で検討することができ、数多く出された意見を精選するとともに、特に役立つと思われる意見を選びすぐることにつながった。
- 具体目標を決定する際に、自己の生活を見詰められるようにワークシートを工夫したことで、自己の現状を踏まえた具体的な取組を決定することができた。特に「何のために行うか」「いつ行うか」といった生活に根ざした事項を検討したことが、自分の課題を捉え、今の自分に適した目標を具体化する思考へとつながった。
- 活動全体を通し、学習方法の幅を広げたり、自分に適した具体目標を決めたりしたことにより、目標に向かって自分に合った学習方法を選択する姿が見られるようになり、家庭学習への主体性が高まってきている。

2 課題

- 意見を精選し、順位付けする際の観点を三つ提示したが、それによって良い意見の選出を難しく考えてしまうグループがあった。三つの観点を網羅した方が良いか、一つに特化した方が良いか等、観点の提示の仕方を十分吟味していく必要がある。
- 具体目標を決める際に、「今の自分に必要なこと」を的確に捉え、その点を基にして「今後の具体的な取組」を決定できるような活動を今後も工夫していくことで、決定の内容が更に質的に向上していくと考える。

実践例

【学級活動（3）】

1 題材名 「『時間の有効活用』ができる達人になろう」（第1学年・2学期）

2 本題材について

本題材は、生徒一人一人が学習面の「課題」を捉え、考えを出し合いながら、学習を進める上での「時間の有効活用」について改善策を考えていくというものである。生徒たちは家庭での過ごし方について、常に試行錯誤し、より良い生活の仕方を模索している。しかし、毎日の生活の中で自分が考えたような時間運用ができなかったり、学習中心に生活改善を図りたいと考えているものの、なかなか実行に移せなかったりする生徒も多い。そこで、本題材では「『時間の有効活用』ができる達人になろう」を議題とした。まず、時間を有効活用した学習方法について小グループで意見交流を行い、自分たちなりに改善策を考える活動を行う。次に、各自が自分の現状をより良くしていくための取組を具体目標として自己決定する。このような活動を通して、家庭での過ごし方を改善していく手掛かりをつかむとともに、自分の課題を見詰め、それを乗り越えていこうとする態度を育むことをねらいとしている。

以上のような考えから、本題材では以下のような指導計画を構想し実践した。

目標	様々な学習方法を学びながら自分に合ったものを見だし、具体目標を持ち、自ら実践することができる。	
評価 規 準	集団活動や生活への関心・意欲・態度	様々な学習方法に関心を持ち、家庭や学校での学習の在り方を主体的に改善しようとしている。
	集団の一員としての思考・判断・実践	他の生徒の学習方法に学びながら、自分にふさわしい学習方法について考え、具体目標を持ち、実践している。
	集団活動や生活についての知識・理解	主体的に学習に取り組むことの大切さや、自分にふさわしい学習方法を理解している。
時間	主な内容	主な学習活動
事前	問題の発見 議題の選定 問題の意識化	・「2週間の学習記録」を記入し、その振り返りから学級で共通の課題を把握する。次に、「時間の有効活用」について自分の考え、取材や調査によって捉えた改善策をカードに記入する。
本時	出し合う 比べ合う まとめる	・「時間の有効活用」についてカードを用いて小グループで改善策を模造紙にまとめ、優先順位を決める。 ・自分に必要な改善策を決め、具体目標としてワークシートに記入する。
事後	実践	・自分が決めた取組を実行できたか、自分にとって適切な「具体目標」であったかを振り返る。

3 本時及び具体化した手立てについて

本学級の生徒が、家庭学習の取組について改善を進めていくためには、まず様々な学び方を知ることで学習方法の幅を広げ、そして、自分の現状に適した取組を決めていくような活動を設定していくことが大切である。そこで次のように手立てを具体化した。

手立て1 カードを用いて、観点を基に考えを順位付けする交流活動の工夫

時間を有効活用した学習方法について意見交流する場を設ける。交流する手順は以下のとおりである。

- ① 有効な学習方法を記入したカードを班で模造紙に出し合い、意見の全体像を把握する。
- ② 「学力向上」「学習の継続性」「現実的にできるか」という観点で意見交流を行い、優先順位を決める。

手立て2 自分の生活を見直して、目標を決定するワークシートの工夫

「伸ばしたい点」「いつ行うか」「何をするか」という視点から作成したワークシートを活用する。それによって自分の生活を振り返り、自分の状況に応じた実践的な具体目標を決定できるようにする。

4 授業の実際

(1) 事前の活動

生徒が記入した「2週間の学習記録」の振り返りを基に議題を設定することで、生徒が抱えている課題や悩みに根ざした議題の設定を行った。事前の活動では、学習面を主とした「時間の有効活用」について改善策を集めてみようとして投げ掛けた。そして、そのような改善策を「これイネ！ポイント」とした。

「これイネ！ポイント」とは

・隙間時間にできそうな学習方法 ・毎日、継続的にできそうな学習方法 ・役に立ちそうな学習方法

また、「これイネ！ポイント」を集める際には、自分自身でアイデアを考えるとともに、先生や家族、先輩等に取材や相談をすることで、幅広い考えを得られるようにした（図1）。

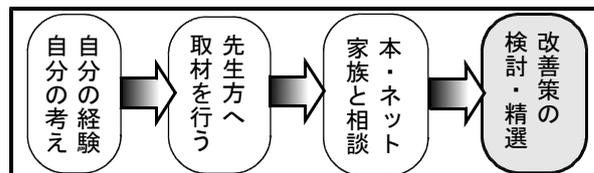


図1 「これイネ！ポイント」を集める流れ

(2) 本時の活動

各自が考えてきた「これイネ！ポイント」を班や学級全体で紹介し合い、一人一人が学習方法の幅を広げていけるようにした。また、自己決定の場では、自分の生活を見直して目標を決定するワークシートを活用し、現状に合った具体目標を立てられるようにした。

①手立て1「カードを用いて、観点を基に考えを順位付けする交流活動の工夫」

ここでは、出された意見を全体的に把握し、自分の考えを広げていく目的で「交流1」を、意見を精選し、より効果の高い意見を選出する目的で「交流2」を設けた。

ア. 交流1 カードを並べ、班で出された「これイネ！ポイント」を全体的に把握する

カードを読み上げ、模造紙に出し合った。まず、生徒たちは同じ意見や似ている意見をまとめることで、考えの整理を始めた（図2左）。その後、「これイネ！ポイント」の項目ごとに整理すると分かりやすいだろうという意見が出され、カードを三つのグループに分類した（図2右）。

その結果、班で出された意見の全体像が捉えやすくなり、生徒たちは隙間時間の活用法や継続的な取組について多様な意見を知ることができた。

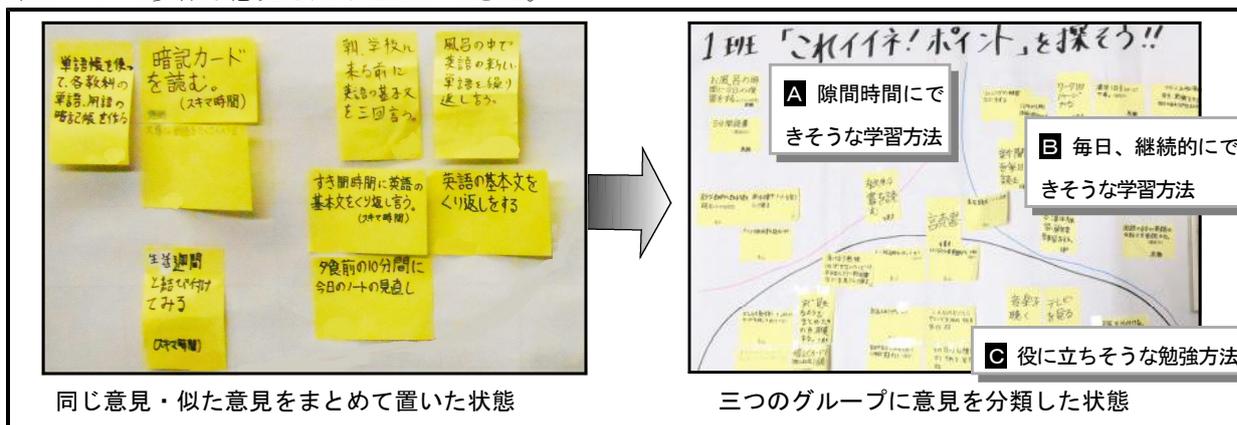


図2 模造紙上で意見を整理していく過程

イ. 交流2 「これイネ！ポイント」を順位付けする

班で出された「これイネ！ポイント」について優先順位を考え、小グループごとにベスト3を決定した。その際、話合いの論点がぶれないように、図3のように観点を明示した。生徒たちは、観点に沿って出された意見の良し悪しの検討を行った。その結果、意見の精選が行われ、より効果が高い学習方法を選び出すことができた。そして、順位付けした結果をホワイトボ

- 1 学力の向上に役立つようなもの
- 2 毎日、続けられそうなもの
- 3 現実的にできそうなもの

図3 班のベスト3を決める観点

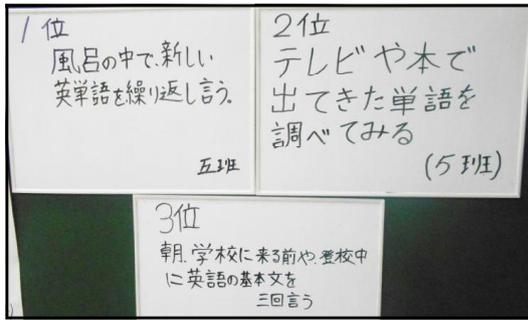


図4 ベスト3を記入したホワイトボード

②手立て2 自分の生活を見直して目標を決定するワークシートの工夫

ここでは、図5のようなワークシートを活用し、一人一人が自分の現状に合った具体目標を立てていく活動を設定した。

手立て1で広げた様々な考え方を参考にして、各自が今後行っていく具体的な取組を自己決定できるように、ワークシートの工夫を行った。具体的には、まず「①自分の伸ばしたいところ」を考えるように投げ掛け、課題を捉えさせた。次に「②いつ」「③どのような学習を行うか」について、日頃の生活を想起させながら具体的に考えさせた。この三つの項目で自己決定を行ったことにより、自分の現状を鑑みながら、現実的に取り組んでいくという意識を高く持って取組の決定がなされた(表1)。

表1 生徒Aの自己決定

生徒Aの自己決定	
①自分の伸ばしたいところ 暗記ができるようにする。	③どのような学習を行うか ・各教科のノートを見直す。 ・英語の基本文を5回ずつノートに書いていく。
②いつ学習を行うか 帰宅後、夕食の前。	

(3) 事後の活動

生徒Aは、その後の家庭学習において、夕食の前の隙間時間を活用し当日学校で書いたノートの見直しを継続的に行った。しかし、時間が足りず、英語の基本文を5回ずつノートに書くという学習方法には取り組めなかったため、就寝前の10分間にその学習方法に取り組むことへ改善していった。

5 考察

班での交流では、隙間時間の活用法や継続的な取組について多様な考えを出し合うことができ、一人一人の学習方法の幅を広げることにつながった。観点を明示し、意見の順位付けを行った結果、班ごとに学習効果の高い取組を選出することができた。今後、生徒が時間の活用を工夫しながら家庭学習を進めるにあたり、大いに参考になると考える。

また、個人の具体目標を決める段階では、最初に自分がカードに書いた活動以外のことを自己の取組として決めた生徒が、約65%いた。これらの生徒は、本時の交流によって新たな気づきがあったと考えられる。また、目標を決める際に役立ったこととして、約55%の生徒が「班内での順位付け」、約30%の生徒が「カードを出し合ったこと」と答えていた。このことから、班で行った交流が、目標決定の際の有効な手立てになっており、今後の学習の指針を考えていく手掛かりとなったと考える。

自己決定した内容については、自分の課題を捉え、それを基に具体的な取組を決められた生徒が約80%いたが、現状と取組がかけ離れていた生徒も少数ながらいた。現状を踏まえた自己決定を行っていくための手立てについて、更に工夫、改善を図っていく必要がある。

ードに記入した(図4)。

以上のような交流2の後、全体での交流の場面を持った。黒板やボードに掲示された各班の「これイイネ!ポイント」ベスト3を見て回り、自分の学習に取り入れていけそうな取組をワークシートにメモした。隙間時間の活用法や継続的な取組について、新しい気づきが多かった生徒が多数いた。

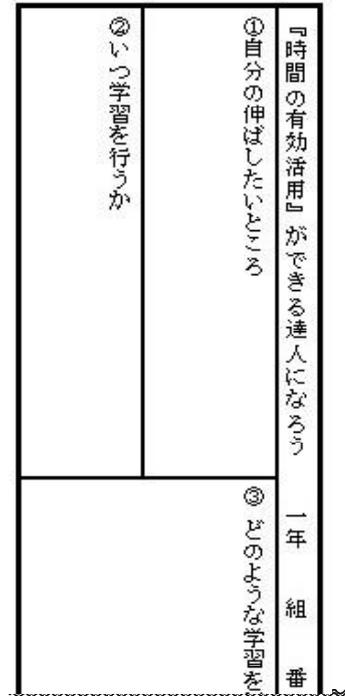


図5 自己決定用のワークシート